



市長と

車座トーク

第17回 深津学区 (概要)



開催日時 2017年(平成29年)4月18日(火)

19:30~21:00

開催場所 深津公民館

参加者数 12人

次第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



<車座トークでの主なご意見>

- ・耐震化した小ホール付きの公民館と旧深津幼稚園・庭球場・プール・深津緑地一体を「ふかつみらい公園」として、市のばらや四季を感じることができる広域防災避難場所・福祉都市公園としての整備ができないか。
- ・深津水泳場や庭球場について、数年前、廃止を含めあり方を検討中の施設として新聞記事で見たことがあり、非常に残念に思う。深津水泳場は学区民の寄付で造り深津小学校へ寄付をし、長年、学区で管理をしている。学区外からの利用も多く、3,000人ほどの来場者があり、防火用水としても使用している。庭球場ではテニス教室を開催するなど、学区外も含め、年間2,500人ほどの利用がある。学区行事にも会場として利用することもある。今後も深津水泳場と庭球場を身近な運動の場、学区の憩いの場として利用したいと思う。
- ・老人クラブ連合会では、健康寿命増進のため、グラウンドゴルフを10年前から行っている。

日ごろは幼稚園グラウンド等で行っているが、狭いため9年前から深津運動広場を使用しているが、使用期限が来年3月末となっている。福山市また市民にとっても、長い目で見れば運動場として利用したほうが環境、市民健康、財政にプラスになると思う。

- ・公民館が狭く高齢者は階段に悩まされている。1階に広いホールのある公民館を高齢者の居場所としてつくって欲しいと思う。
- ・深津学区の町内会加入率は57.8%で、勧誘のパンフレットを未加入世帯に配布するなどの取組をしてきた。市長としての基本的な考えと今後の具体的な取組を聞かせて欲しい。
- ・地域の中で積極的に取り組んでいる行政職員もいれば、町内会に入っていないということも聞く。地域で一緒にやってくれるように具体的な取組をして欲しい。
- ・明神町、東深津町には徒歩圏内にスーパーや総合病院がなく、バス停までの距離が遠い。運転できない独り暮らしの高齢者などは、日常の買い物や通院で不便を感じている。高齢者の運転免許返納後の、タクシー券の配布や電動自転車購入の補助金、バスの乗車割引などがあれば、高齢者自ら安心して外出する機会ができると思う。
- ・明神町、東深津町を通過して福山駅、病院、スーパーを利用できるまわローズの循環路線を作って欲しい。また、併せて最終運行時間の延長を検討できないか。
- ・町内会館が老朽化している。高齢化も進む中、畳では不便ということもあり、改修したいが、改修となると町内会の負担も大きくなる。何か市の補助もしくはいい案はないものか。
- ・深津学区にはJR山陽本線に2か所の踏切があり、「一の丁踏切」は、深津小学校の児童や自転車、高齢者が利用する大切な踏切である。便利さゆえ、自動車の抜け道となり大変危険で接触事故も多くある。朝の通勤時間帯は非常に交通量が多く、児童だけで踏切を渡るのは不安があるため、登下校ルートを変更した。ほかの学校では、踏切を渡る場合や、道幅が狭い通学路の場合、どのように登下校しているのか。看板のようなすぐできるものから整備して欲しい。
- ・深津学区では、2005年に県内でも初の試みとして「地域見守り隊」を発足した。現在は「声かけパトロール」と名前を変え、学区内の各町内で活動している。ただ、多くの方が高齢者になり辞退される方も少なくない。ボランティアでなく有償の制度にするのも一つの方策ではないかと考える。手当つきの「地域見守りサポーター」制度を市に創設し、各地域に何人か配備するのはどうか。同時に、各学区でもまちづくり推進委員会などが出資してサポーター会を創設し、市とサポーター会から有償で依頼をするようなことを提案したいと思う。
- ・深津小学校は今年創立146周年となる。深津ほとんどの発祥とされている。18年前から江戸時代から深津に伝わる福山藩主・水野勝成公の「時代行列保存会による大名行列」を伝統文化として継承している。福山市の文化財指定をして欲しい。毎年秋まつりに、約70人で地元13町内会14kmを練り歩いている。地域では頑張っているのだから、行政としても応援していただければと思う。
- ・深津の魅力は古い歴史や文化、伝説や昔話が語り継がれていること。総合学習の時間で調べている。他の学年の人や、深津の住民以外の人々などにも、発信していきたいと考えている。福山市に複数ある「津」のつく学校のサミットを実施し、地域の魅力を交流しあいたいと思う。深津の地域が、もっと元気でやさしい町になるように取り組む。市長は、福山の魅力はどんな

ことだと考えているか。

- ・深津には側溝のふたが少ないと思う。高齢者には、ふたなしの側溝は堀のようで危ないと思う。
- ・私たち6年生は小学校のスーパーリーダーとして、どんなことを頑張ったら良いかを考え、活動をしている。一方では、私たちは地域の人々や先生方、保護者のみなさまに支えられている。学校だけでなく地域でも、身の回りの人を助け、支えることのできる力をつけていきたいと考えている。市長は、福山のリーダーとして、どんなことに気をつけてお仕事をされているのか。

<市長のまとめ>

- ・自分たちの町を自分たちで作っていくのだという思いで地域づくりをしてこられた深津学区の皆様には感謝したい。健康にしても、スポーツにしても、いい環境の下で毎日楽しく生活できることは、とても理想的なことで、私たちの目標としていかなければならない。
- ・福山市では、人口減少や施設の老朽化の中で行政サービスを継続するため、公民館やふれあいプラザ等学区にある機能を集約し、交流館というものを建設する計画になっている。交流館整備の全体計画をお示しするなかで、深津学区に交流館を整備するまでの間どうやって今ある公民館を大切に使うかということ整理できるようにしたい。
- ・防災拠点ともなる福祉都市公園については、福山市の今後の施設の集約化あるいは改築の計画の中では、大規模ものは造られない。今後新設していく交流館の中に、福祉、健康づくり、ふれあいという機能をできるだけ含められるよう、地域の意見を聞きながら、整備をしていきたい。防災拠点としての機能については、交流館だけではすべての学区民を受け入れられない。そこは、改めて、深津学区の防災機能をどうやったら高められるかということまちづくり推進委員会の皆様と議論をしていく中で、より良いものを作っていければと思っている。
- ・水泳場とか庭球場については、いずれは売却も含めて、そのあり方を考えていかなければならないと思うが、使えるうちは、大切に使うべきだと思ってる。すぐさま廃止すると壊すとかいうことはしないようにしたい。その分、今まで以上に地域と一緒に、維持管理に汗をかいていかなければならないと思う。
- ・深津運動広場は過去からの経緯がある。10年以上前から、地域の皆様の要請にこたえながら延長してきており、その最後の期限が来年3月末となっている。替わりの場所を探さなければならぬが、まずは地域の公園等を使って練習をし、試合は市営のグラウンドゴルフ場を使っていたきたい。
- ・町内会の加入率の伸び悩み問題は、車座トークで出向いた先々で聞く。加入率の問題については、全国に成功した事例があるので、それをお知らせし、取組のヒントとしていただきたい。マンションに住まわれる方の町内会加入率が低いということだが、マンション単位で町内会を作るという考えで成功した事例が市内にある。また、マンションの入居条件に町内会への加入を入れてもらうなど、マンションの売り主に直接アプローチして成功したという事例もある。
- ・川口東学区に「子どもまちづくり委員会」というのがある。子どもたちがお祭りや環境美化を計画し、それを大人がサポートするという形だ。子ども達が地域づくりに関わるなら、親も関わろうという中で、親も引っ張られる。子どもの知恵を借りるというのも一つの事例になる。

- ・行政職員の地域への参加が望ましい。行政職員は、日々、市役所で地域づくりのために汗をかいている。地域においても汗をかいてもらうような取組につなげられればと思う。
- ・高齢者の交通手段の確保については、まわローズを共同運営してくれている民間バス事業者に地域の声を伝えていきたい。時代にあっつきめ細かな高齢者の移動支援を考えるべく議論を始めている。それまでの間は、交通費助成制度や、お出かけ支援事業、買い物支援事業など、今ある制度を利用していただく中で、できるだけ、皆さん方の負担を軽くしたいと思っている。
- ・町内会館の整備や維持管理については、基本的には、補助制度もあるが、大がかりな改造については、地元の負担もお願いをするということにしている。
- ・通学路の安全確保については、一斉点検などの取組を通じて議論をして解決に近付けている。車に注意喚起をするための看板や旗などを設置する事業はある。一の丁の踏切については、2020年度中には、踏切に歩道ができるので、安全度が高まるということは伝えておきたい。
- ・県内先駆けでスタートした声かけパトロール事業が、課題を抱えているという切実な話があった。福山市交通指導員制度を深津学区でも使っていただければと思う。また、地域に貢献された方を善行市民として表彰する制度があるが、声かけパトロールで長く活躍された方は、そういう表彰もさせていただきたいと思う。見守り活動が継続できるようにしていきたい。
- ・文化財指定については、福山市教育委員会の文化財保護審議会で審議をする。再チャレンジしていただきたい。それと同時に、県のいきいき地域づくり賞や、ひいては総務省のふるさとづくり大賞にチャレンジして欲しい。昔のようなどんど祭りを復活させたいという思いでいる。
- ・福山は歴史や伝統や文化の力が大きなところ。創立146周年という歴史の一番古い小学校で学んだことに誇りを持ち、ぜひ深津、福山、日本のために役に立つ立派な大人になって欲しい。
- ・暗いときの側溝は、お年寄りにとっても危ない。そうした声があったことを担当に伝える。ただ、農業用の用水の場合には、あまり蓋をすると、水をとりにくくなる。
- ・福山に行って住んでみたい、と周りの人が思うような町にしたい。住み続けたいと思う町にしたい。そのためには、都市としての元気がないといけない。人口は減っていても、都市の力は大きくなるような福山にしたい。若い家庭から子どもが生まれるような町にしたい。お年寄りがグラウンドゴルフを楽しめるような町にしたい。産業が発達した町にしたい。災害に強い町にしたい。未来を創造する教育の力がある町にしたい。福山にはこんなに素晴らしい文化があるということを発信し、市民に誇りが生まれるような町にしたい。5年後には、福山城築城400年、2年後には福山開府400年という歴史の節目に居合わせることになる。深津学区の皆様にも参加していただきたいと思う。

<地域からのあいさつ>

今日はお忙しい中、深津に寄っていただきありがとうございます。今日の地域の色々な意見をもとに、行政と地域がウィンウィンの関係で取組み、一つ一つの目標、今日の意見をまとめて、達成していきたい。深津に住んでよかった、福山に住んでよかった、高校や大学で福山を離れても、深津に戻りずっと住んでいきたいというようなまちづくりを町内の皆様とともにしていきたい。